

科目名	子どもの食と栄養Ⅱ B					単位	2.0
担当教員	北方 幸江						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	4422

●授業のテーマ

家庭や児童福祉施設における現状と課題について明らかにしながら、食育の基本と内容を学び、具体的な実践ができるようにする。

●到達目標

保育所保育指針にある食育を保育士として実践できるよう演習や実習を通じて保育計画で具体化できることをねらいとする。

- ①年齢別の食行動の発達を学び、年齢別の食育の目標を理解する。
- ②食を通しての家庭や社会への支援について学ぶ。
- ③アレルギー食などの食や栄養について学び、個別対応を要する子どもへの対応と理解を深める

●学習内容(授業概要)

食育を目的とした演習や乳幼児食の調理の実習から乳幼児期の適切な食事提供や食生活のあり方を学び、現在の食生活環境や児童福祉施設の給食のあり方が乳幼児だけでなく学生自身の健康や生活と密接に関わっていることを理解して望ましい食習慣について考える。演習は、子どもの食と栄養Ⅰで学んだ栄養の知識が健康な生活の基盤であることを踏まえて、各学生が個々のテーマについて研究し発表する。発表者への質疑応答の中で内容の理解を深める。

●学習内容(授業計画)

- (1) 保育所保育指針と食育の基本について
- (2) 年齢別の食育の目標とねらいについて
- (3) 年齢別の食行動の発達について
- (4) 食育計画とクッキング活動の具体例について
- (5) 児童福祉施設における給食と家庭の食事の現状と課題について
- (6) 離乳期の食事実習：調乳・ベビーフード・手作り離乳食
- (7) 幼児期の食事実習：おやつ・弁当・朝食
- (8) 個別対応の食事実習：アレルギー対応食
- (9) 生活習慣病と食生活について
- (10) 演習：健康維持のための適正な食生活
- (11) 演習：妊娠期・乳汁期・離乳期の栄養と食生活
- (12) 演習：乳幼児期の食生活の問題と対応
- (13) 演習：個別対応を要する子どもの食事を考える
- (14) 演習：保育士ができる食育・子育て支援
- (15) まとめ：レポート

●準備学習・事後学習の内容

個々の課題テーマについて事前に調べ保育士としての実践力につなげてほしい。また、実習や演習を通じて、問題や課題を多面的に捉えられる力を養ってほしい。

●成績評価方法・基準

授業への積極的な参加や態度（25%）、レポートや課題の提出（30%）、期末試験（45%）などにより総合的に評価する

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：新 保育士養成講座第8巻、著者名：新 保育士養成講座編纂委員会、出版社：全国社会福祉協議会、販売先：（株）D.O.

●参考文献／その他

食を営む：師岡章、倉田新、徳永恭子、野村明洋著、フレーベル館

●履修上の注意

自然や行事そして生活文化や食文化が人間の成長発達と如何に関わっているか考えてほしい。また、食卓が子どもの心理に及ぼす影響についても日常から乳幼児の食行動などに関心を寄せて観察してほしい。実習や演習に積極的に取り組むことを期待する。